

# 佐渡市立両津小学校 アスベスト健康対策等 専門委員会ニュース

2013(平成 25)年 12 月 13 日発行 **第 6 号**

- Index
- 1 第 11 回専門委員会の内容について
  - 2 健康リスク・心理相談の日程について
  - 3 アスベスト健康対策 Q & A

発行：佐渡市立両津小学校アスベスト健康対策等専門委員会  
事務局：佐渡市教育委員会学校教育課 学事指導係 〒952-8501 佐渡市両津湊 198 番地  
Tel.0259-23-4894 Fax.0259-23-4900 E-mail k-gakko@city.sado.niigata.jp  
URL <http://sougo.city.sado.niigata.jp/kyouiku/gakkou/osirase/20081105.jsp>  
ご不明な点や、ご意見・ご要望等がございましたら、お気軽に事務局までお問い合わせ下さい。

## 1. 第 11 回専門委員会の内容について

去る 8 月 24 日(土) 標記委員会が開催されました。

健康リスク・心理相談の申し込み状況と、胸部レントゲン写真の読影状況の報告があり、相談の申し込みはありませんでしたが、胸部レントゲンの読影の申し込み者は 6 名でした。

また、昨年発生した南中学校の煙突事故に関連して、名取委員長から、煙突のアスベスト除去工事の際には適切な事前の調査が重要だとの指摘があり、併せて「建物調査の公的制度」の開始について詳しい説明がありました。

## 2. 健康リスク・心理相談の日程について

来年度の相談日(予定)をご案内します。

開催日	開催時間	相談場所	健康リスク 相談担当	心理相談 担当	申し込み期限
平成 26 年 8 月 23 日(土)	午後 1 時 ~ 5 時	両津地区 公民館 2 階	名取委員	永井委員	平成 26 年 8 月 13 日(火)

## 3. アスベスト健康対策 Q & A

**Q** 「喫煙と健康影響について」アスベスト健康対策専門委員会の名取雄司医師に伺いました。

**A** 「タバコ(煙草) = 喫煙は、本人が「好きで吸っている」という場合もありますが、実際はニコチン依存症であることが現在までにわかってきました。依存性のある物質は喫煙、アルコール等、物質の血中濃度が低くなると吸入や接取をしたくなるのです。寝ている間に煙草は吸えませんから、朝にはニコチンの血中濃度が低くなります。朝起きて寝覚めに一服吸いたい方は、ニコチン依存症が中等度以上といわれています。タバコを止められないのは意志が弱いわけではなく、依存症のために簡単にはやめにくいのです。

現在喫煙の代わりに同等量以下のニコチンを貼り薬や噛む薬等で摂取しながら数週間かけて徐々にニコチン濃度をさげて、最終的に禁煙する禁煙外来が全国にできています。喫煙は、肺がんになりやすいだけでなく食道がん、喉頭がん、膀胱がん等の悪性の病気、COPD等の呼吸器疾患、狭心症や心筋

梗塞といった心臓疾患にもなりやすい、有害な物質がたくさん含有されているものです。若い時に煙草を一度吸い始めると簡単に止めにくいで、健康のために吸わないようにしましょう。

石綿（アスベスト）を建物の工事等で短期間ごくわずかに吸入した方は、ごくわずかであり心配する必要はありませんが、肺がん等の石綿関連の病気になりやすい可能性があります。喫煙をしなければ肺がんのリスクは減少できますので、是非タバコは吸わないようにし、一度吸ってもすぐ禁煙外来も受診し禁煙をしましょう。家の周囲の人が煙草を吸う間接喫煙も問題です。ご両親、友人、配偶者等に喫煙はやめてもらいたいですし、最低限皆さんの近くで決して吸わないようにしてもらいたいです。

Q 「国交省 石綿含有建材調査者」について、同 名取雄司医師に伺いました。

A 石綿含有建材を飛散させないためには、的確な事前調査・適切な建物管理・厳格な除去工事・適切な廃棄の全過程が必要ですが、的確な事前調査に関する国交省の制度が新設されました。2013年10月国土交通省は、「建築物石綿含有建材調査者」制度の創設告示（2013年7月30日、国土交通省告示第七百四十八号）に基く講習機関に、一般財団法人日本環境衛生センターを承認しました。同センターは、関東2回（2014年1月、同3月）、大阪1回（2014年1月）、福岡1回（2014年2月）と調査者講習を開始し、その後も随時実施する予定だそうです。調査者の受験資格は一定の学歴と実地経験が要件で、受講生は専門テキスト（建物と石綿関連疾患、リスクコミュニケーション、設計文書から情報収集手法、等）を2日間学びます。受講者は実際の建物で1日実地研修を受け日本初の調査報告書書式の作成を行い、面接試験を受けます。講習の講師は、国交省社整審アスベスト部会同WGで米英制度を参考に約3年かけテキストを作成した現場経験の豊富な専門家が講師を務める模様です。2014年3月筆記試験が実施、合格した石綿含有建材調査者は登録されHPで公開予定とあります。

建物の事前調査には、厚労省石綿則の告示の中で、座学2日で取得される石綿作業主任者、同座学のJATI（旧石綿協会）のアスベスト診断士の規定もあるが、実地講習も書式の定めもなく十分な調査が可能か問題とされてきました。日本初の石綿含有建材調査の公的資格「建築物石綿含有建材調査者」に関係者の期待は高まっています。是非佐渡市の建築部局の方の受講をご検討ください。

国交省は、既にある建物の石綿含有建材調査や石綿除去に対する国庫補助金の要件に石綿含有建材調査者を加えることを検討中で、自治体での普及を促進する予定とあります。現在も国の建物の石綿含有建材調査の補助金制度を利用しない自治体も案外多く、自治体が石綿対策に熱心かどうか住民の熱意含め自治体間に差異の時代となります。佐渡市も石綿含有建材調査の国の補助金制度、国交省の石綿含有建材調査者制度を容易に活用、利用できるよう所管課内の検討、同制度の普及利用をお願いします。

社会情勢や医療の発展に応じた対策を講じる必要から、将来に渡り、専門委員会ニュース発行時などに合わせて現住所（あて先）の確認を行ってまいります。

引越し等であて先が変更になったときには、事務局までお知らせくださいますようお願いいたします。（特に島外へ転出した方々についてはよろしくお願いたします）